

添付資料

臨床研究「当院での消化管ストーマ造設症例における手術成績の検討」 についての情報公開

大腸癌や腸穿孔、炎症性腸疾患などの消化管疾患では消化管ストーマの造設を伴う手術を必要とすることが少なくありません。消化管ストーマ造設後にはしばしば傍ストーマヘルニアやストーマ脱出などのストーマ合併症を起こすことがあります。一旦合併症が起きるとストーマケアに難渋することも多く、外科治療が必要になる場合もあり、QOLに直結します。当院での手術成績より消化管ストーマ造設例における現況について検討し、今後の治療につなげるため、観察研究を計画しました。

研究対象期間：2012年～2021年

研究対象：上記期間に東北労災病院で消化管ストーマ造設する手術を受けた患者

方法：2012年以降当院で造設した消化管ストーマ造設例について診療録を調査し、retrospectiveに検討します。解析を行う際には氏名や手術日などの個人を同定できるデータは削除した形で行い、特定の患者さんに直接の不利益がもたらされることはないよう最大限の配慮を行います。

なお、研究に関するお問い合わせ、ご意見、研究協力拒否等のご要望につきましては、研究代表者までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

研究代表者：

独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院

大腸肛門外科 羽根田 祥

TEL 022-275-1111, FAX 022-275-7541

〒981-8563 仙台市青葉区台原4丁目3-21